

東備西播定住自立圏形成協定を締結



備前市は、12月25日に兵庫県赤穂市、同県上郡町と「東備西播定住自立圏形成協定」を締結しました。

定住自立圏構想は、市町村が協定により役割を分担し、相互に連携して、圏域ごとに「定住」のための暮らしに必要な機能を確保し、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅

力あふれる地域の形成を目指していくものです。

本市と、赤穂市、上郡町の3市町は、昨年より先行実施団体として、連携して取り組んでいく事業などについて協議を進めてきましたが、このたび、12月議会での協定書の議決を経て、12月25日、「東備西播定住自立圏形成協定合同調印式」を赤穂市役所において行いました。今後は、具体的取り組みなどを記載する圏域共生ビジョンの策定を行ってまいります。

(写真は右から西岡備前市長、豆田赤穂市長、山本上郡町長)